

## 2020年度第3回学ぶ喜び・ESD連続公開講座 概要報告

奈良教育大学 中澤 静男

◇開催日時 2020年10月16日(金)19時~20時30分

◇方法 ZOOMを用いたオンライン講演会

◇参加者数 80名

◇内容

「知識のつながりなおしとESD-価値観の変容を目指した学び」

講師：大分大学教育学研究科教職開発専攻 河野 晋也 氏

中心的疑問

「価値観の変容はどうしたら起きるのだろうか。その時、子どもの中で何がどうなっているのだろうか？」

### 1. 価値観について

価値観とは 自分が大事だと思うもの。または大切だと考えるときのものさし。

- ・価値観は思い付きや願望(抱負)とはちょっと違い、行動が伴っているもの、あるいは、習慣化しているものとの関係があるのではないか。
- ・ESDが目指している価値観の変容とは、身につけている、無意識にでもできるという状態を目指しているのではないか。

### 2. 価値観が変わったなという経験を話し合う。(ブレイクアウトセッション)

例えば、関西に来て、実習に行ってみて子ども観が変わった、就活して仕事観が変わったなど。

### 3. 持続可能な自分の暮らし

長崎:・浦上天主堂 戦争や平和を勉強していくとき、価値観が変わった。

誰もがだめだとわかっているのに戦争する、という価値観はなんだろう。

そんな簡単に価値観って変わるものだろうか。そもそもなぜ価値観の変容は起きるのだろうか。

#### (1) 価値観の変容

知らない状況 まず知るところから 行動してみる 気づく 技術を身につける 習慣化する

知るだけでは価値観の変容にはたどりつけない 知識と価値観の間にあるものは何か

#### (2) 学びのパラダイム転換(学びに対する考え方の転換)

かつては「教授パラダイム」 教員から生徒へ知識は伝達されるもの

学習パラダイム 学習は生徒が中心 知識は構成され、創造されるもの

「生きて働く知識・技能」とは、他の学習や生活の場面でも活用できるような知識・技能

知識・技能を活用して課題を解決する 知識が生きて働くことで習慣化する

習慣化の過程で考えたり、判断したりする場面が出てくる

どういう知識が生きて働くのか:ソマティック・マーカーが働く

#### (3) ブレイクアウトセッション2 この中でESDに関係する写真は? コロナに関係する写真は?

##### ①ESD

- ・ウナギのないうなぎ(ウナギは絶滅危惧種)
- ・フェリー 各自が自動車で移動するよりもエネルギー消費量が少ない
- ・海洋の温暖化でとれる魚の種類が変わってきた・漁獲量が少なくなってきた。

##### ②コロナ

- ・少人数の授業、3密を避けるために、自家用車を多用するようになった、空気が澄んだので星が見える、コロナになって写真の見え方がかわった、イルカの写真：家族旅行が減った

③気になっていること：心の中の比重が大きい、関心が高いもの

コロナ：価値観に影響を与えている

- ・他県ナンバーはいじられる ということを知ったことがあるのに気づかなかったのはなぜだろう？  
なぜ、関連付けができなかったのだろう。→ 知らなかった、他の写真の方が気になった、  
他のことを考えてしまった

使えない知識とは、関連付けられない知識

使えない知識：断片的知識（ディセッサ、1987） 知識は断片的な、小さな要素として存在している。

知識をばらばらに教えるのではなく、結び付け方を教えるのが新しい学習論

結びつけることで〇〇に関する価値観による知識の呼び出し

①呼び出しの優先度（ソマティック・マーカーでひっかかったものから気づき）

②信頼の優先度（呼び出した知識がこの場に相応しいものか判断する）

○その人が重視していないもの、気にしていないことに関する知識は、呼び出せないし活用できない。

「気にしてもらおう」ようにすることが重要

しかし①・②の優先度は生活をとおして身につけてきたものなので簡単に変わるものではない。

授業を通して考える

「火事から暮らしを守る」3年生・社会科

「自分たちの町を守るのは自分たち」という意識を持って欲しかった。ところが、子どもたちは知識をつないでくれなかった。「町を守るのは消防署」という「当たり前」がしみついている。

①認知的葛藤 思考のゆさぶり 思っているのと真逆の状況を提示する

②状況的文脈的学び 実際のそのような場面を専門家に聞いてみる

③建設的相互作用 「ねりあい」人の思考は、自分が正しいと感じているものとは異なる視点が意識されることによって見直しが起こり、広がりを持つ

呼び出しの優先度・信頼の優先度を変える（省察させる）自分で変えることになるように振り返りを重視する。

価値観は知識をどう結び付けるかに表れる

価値観の変容＝知識の結び付け方が変わる

こう考えるべきと教え込むことはできないが、

知識を活用する／構築する＝思考するという 断片的な知識をつなぎなおすこと

知識の獲得 思考する 価値観につながっていく

- ・クリティカルシンキング（自分の当たり前を疑う・自分の価値観を疑う）
- ・システムズシンキング（社会を構造的に捉える、知識を構造化する）
- ・長期的思考力（拡大鏡としての役割）今は小さいことが、時間の経過で大きなことに

今の課題は今の大人が解決すべき

今の子どもには「18番目のSDGs」を見出す力、予測不可能な問題の出現に対応できる力を子どもたちに育むこと（未来に対しての練習問題としてのSDGs）。